



大型計算機センターニュース

福岡市東区箱崎六丁目10番1号
九州大学大型計算機センター

目次

1. 年末年始計算サービスの一時停止のお知らせ	1
2. ジョブキューの新設及びジョブ制限値の変更について	2
3. kyu-ccのfrt, frtexコマンドの省略値の変更のお知らせ (M-1800/20U)	3
4. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用のお知らせ	4
5. 「オンライン・データベース利用ガイド 第17版」発行のお知らせ	6
6. 平成9年度の利用者旅費について	7

大型計算機センターWWWホームページ

<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp>

1. 年末年始計算サービスの一時停止のお知らせ

年末年始の期間、次のとおり計算サービスを一時停止します。

ただし、ライブラリサーバ (S-4/1000E) 及び端末サーバは通常どおり運用します。

なお、1月7日(水)午前中は定期保守を中止し、計算サービスを行います。

また、センター内オープン機器室及びワークステーション室は12月27日(土)から1月5日(月)まで閉館します。

年 月 日 (曜)	利用者サービス
9年12月30日 (火) 17時	平成9年の計算サービスの終了
9年12月30日 (火) 17時 }	計算サービスの一時停止 汎用コンピュータ M-1800 スーパーコンピュータ VPP700 分散メモリ型小規模 CM-5
10年1月6日 (火) 9時	並列コンピュータ
10年1月6日 (火) 9時	平成10年の計算サービスの開始

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

2. ジョブキューの新設及びジョブ制限値の変更について

平成10年1月6日(火)から、スーパーコンピュータ VPP700/56 の UXP/V、汎用コンピュータ M-1800/20U の UXP/M、及び汎用コンピュータ M-1800/20U の MSP において、ジョブクラスの新設などのバッチジョブの制限値を下表のように変更します。

変更内容

1. スーパーコンピュータ VPP700/56 の UXP/V において、並列ジョブのデバッグを促進するために、デバッグ専用のジョブクラス s8 を新設します。
2. 汎用コンピュータ M-1800/20U の UXP/M において、ベクトル演算*が可能な長時間ジョブ用のジョブクラス v を新設します。
3. 汎用コンピュータ M-1800/20U の MSP において、ファイルアクセス回数、ラインプリンタ出力行数、及び図形文字パターン数の各制限値を廃止します。

UXP/V及びUXP/M

システム区分	適用ジョブ	ジョブ クラス	CPU時間	メモリサイズ		備考
				省略値	制限値	
スーパー コンピュータ VPP700/56	バッチジョブ	c	60分	512MB		コンパイル専用
		s	60分	1PE 当たり 512MB	1PE 当たり 1792MB	非並列
		s8	10分			8PE 並列
		p1	1200分			非並列
		p8				8PE 並列
		p16				16PE 並列
		p32				32PE 並列
	TSSジョブ		60分			100MB
汎用 コンピュータ M-1800/20U	バッチジョブ	ss	180分	100MB		
		v	1200分	512MB		ベクトル演算可
	TSSジョブ		60分	100MB		ベクトル演算可

* M-1800/20U は最大浮動小数点演算性能 1.2GFLOPS のベクトル計算機であり、UXP/M ではベクトル計算が可能。

MSP (汎用コンピュータ M-1800/20U)

処理方式	ジョブクラス	CPU時間	メモリサイズ		端末接続時間	ラインプリンタ出力枚数	備考
			省略値	制限値			
バッチジョブ	A	10分	100MB		—	600枚	
	B	180分					
	N	10分	200MB				MTジョブ
	F	180分					
TSSジョブ		60分	100MB		1435分		
M V P P 連 携	W	60分	512MB	1792MB			非並列
	X	1200分	1PE 当たり 512MB	1PE 当たり 1792MB			非並列
	Y						8PE並列
	Z						16PE並列

(システム管理掛 ダイヤルイン 092-642-2308)

3. kyu-ccの frt, frtex コマンドの省略値の変更のお知らせ (M-1800/20U)

1997年12月24日より、汎用計算機 M-1800/20U の UXP システム (ホスト名 kyu-cc) の frt(/usr/uxp/frt) コマンドおよび frtex(/usr/uxp/frtex) コマンドでベクトル化コンパイラを起動するオプション -J を省略値とします。

従来は -J オプションまたは -Wv オプションを指定しない場合、スカラー版の Fortran コンパイラが起動されていましたが、省略値の変更により、ベクトル版コンパイラが起動されます。

なお、従来のスカラー版コンパイラで作成した kyu-cc オブジェクトファイルはそのままリンク可能ですが、ベクトル計算機の性能を引き出すために、再作成することをお勧めします。

●ベクトル版 Fortran コンパイラの起動 (FORTRAN 77 EX/VP)

FORTRAN 77 プログラム a.f を翻訳し、ベクトルユニットで実行可能な実行ファイル a.out を作成します。従来のオプション -J または -Wv は必要ありません。

```
kyu-cc% frt a.f
```

●ベクトル版 Fortran コンパイラの起動 (Fortran 90/VP)

Fortran 90 プログラム a.f90 を翻訳し、ベクトルユニットで実行可能な実行ファイル a.out を作成します。従来のオプション -J または -Wv は必要ありません。

```
kyu-cc% frtex a.f90
```

●ベクトル化の抑止

ベクトル化を抑止する場合は、オプション `-Wv,-sc,-n,-p2200` を指定します。

```
kyu-cc% frt -Wv,-sc,-n,-p2200 a.f
```

●SSL II/VP の結合

ベクトル版のサブルーチンライブラリ SSL II/VP の結合は `-lssl2vp` です。 `-lssl2` の場合、スカラー版が結合されます。

```
kyu-cc% frt a.f -lssl2vp
```

(ライブラリ室 ダイヤルイン 092-642-2295)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

4. 科学研究費及び受託研究費による計算機利用のお知らせ

科学研究費及び受託研究費によりセンターの計算機を利用されている方は、利用期限が近づきましたので、以下のことについて十分注意してください。なお、平成9年度は時期が少し早まっていますので念のため申し添えます。

1. 利用期限

平成9年度の最終利用期限は平成10年2月11日(水)です。計算機利用承認書等でご確認ください。

2. ジョブの依頼

例年1, 2月中はジョブが多く当該月内に処理できないことがありますので、科学研究費及び受託研究費による計算機利用で、特に長時間ジョブについては、早めに計算処理依頼を行ってください。

3. ジョブの出力

利用期限が2月となっている利用者のジョブで、利用期限当日までに入力されても期限内に処理できなかったジョブ(実行途中のジョブも含む)は、キャンセル処理をしますのご了承ください。

なお、利用期限が1月となっている利用者のジョブについては、強制出力を行いませんので、計算負担金額を1月末で確定する必要のある利用者は、必ず依頼したジョブを利用期限までに各自で出力まで行ってください。

(出力待ちの確認と対処方法)

a. UXPジョブの確認と対処方法

kyu-cc または kyu-vpp にログインし、qstat コマンドでジョブの状況を確認します。

```

kyu-vpp% qstat
      (kyu-cc のジョブを確認する時は、qstat @kyu-cc)
c@kyu-vpp; type=BATCH; [ENABLED, INACTIVE]; pri=31
  0 exit;  0 run;  0 queued;  0 wait;  0 hold;  0 arrive;

s@kyu-vpp; type=BATCH; [ENABLED, INACTIVE]; pri=31
  0 exit;  0 run;  0 queued;  0 wait;  0 hold;  0 arrive;

pl@kyu-vpp; type=BATCH; [ENABLED, RUNNING]; pri=31
  0 exit;  5 run;  0 queued;  1 wait;  0 hold;  0 arrive;

      REQUEST NAME      REQUEST ID      USER PRI    STATE  JOB-ID  PHASE
<1 requests RUNNING>
2:          a.sh  41255.kyu-vpp      a79999a  31  RUNNING    859  RUN    ....①
<3 requests RUNNING>
6:          b.sh  41275.kyu-vpp      a79999a  31  WAIT                               ....②
.
.

```

①は実行中のジョブ、②は実行待ちのジョブです。UXPのジョブは実行終了時に課金するため、このようなジョブが翌月に終了すると翌々月に請求されますので注意してください。ジョブを取り消すには `qdel` コマンドを使用します。

```

kyu-vpp% qdel -k 41255.kyu-vpp
      (kyu-cc のジョブを取り消す場合は、qdel -k -r kyu-cc リクエスト番号)
Request 41255.kyu-vpp is running, and has been signalled.

```

b. MSPジョブの確認と対処方法

LOGON コマンドで TSS セッションを開設後 STATUS コマンドで確認します。

```

READY
STATUS
KEQ56211I JOB A79999K#(TSU02290) IS EXECUTING ON THIS TERMINAL    ....①
KEQ56192I JOB A79999KA(JOB01836) IS WAITING FOR OUTPUT          ....②
KEQ56197I JOB A79999KB(JOB01853) IS WAITING FOR EXECUTION       ....③

```

①は自セッションです。②は出力待ちのジョブです。③は実行待ちのジョブです。従って、②③のようなジョブがある場合は出力または消去する必要があります。このようなジョブが翌月に出力されると翌々月に請求されますので注意してください。上記の例の場合次のように入力して出力または消去します。③のように実行待ちのジョブは出力できませんので CANCEL コマンドで消去します。

```

READY
CANCEL A79999KA(JOB01836) PURGE    ....出力せずに消去します。
CANCEL A79999KB(JOB01853) PURGE    ....実行待ちジョブを消去します。

```

c. L P O U T (プリンタ出力用コンソール) による確認と対処方法

オープン室に設置されたN L P 横のコンソールへ行き、登録番号とパスワードを入力します。
ジョブがある場合は“ A ” (A4NLP出力) , “ B ” (B4NLP出力) または“ D ” (消去) を入力します。

4. ジョブの負担金キャンセル

ジョブの負担金キャンセルは、利用期限が1月のものは1月30日(金)までに、利用期限が2月のものは2月12日(木)までに、当該計算結果を添えて2階受付またはシステム運用掛にキャンセル依頼を行ってください。

なお、連絡所からの利用者で上記期日までにキャンセル依頼が間に合わないと思われる方は、あらかじめシステム運用掛までご連絡ください。

5. 利用負担金の請求

科学研究費による1月分の利用負担金の請求は2月初旬に、2月分は2月中旬に請求処理を行います。

なお、上記研究による利用での利用負担金は、校費等での振替払いはできませんので利用にあたってはご注意ください。

システムで行っている予算管理では、予算(当初の利用予定金額-実利用金額)が1円でも残っていればセッション、あるいはジョブを受け付けます。従って、結果的に予算オーバーとなることがありますので十分ご注意ください。

6. データセットの取扱い

利用期限切れまたは予算オーバーとなった登録番号のデータセットは、翌月の8日に消去しますので、必要なデータセットは各自で保存処理を行ってください。

なお、他登録番号(校費課題など)に移行するデータセットはアクセス権の設定が必要です。

M S P のデータセット ADDSD, PERMIT コマンドで他登録番号に ALTER 権 (リネームが可能) を与える。

U X P のデータセット 他登録番号でアクセスできるように chmod コマンドで READ 権 r (ディレクトリは検索権 x も) を与える。

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

5. 「オンライン・データベース利用ガイド 第17版」発行のお知らせ

この度「オンライン・データベース利用ガイド 第17版」を発行しました。
ご希望の方は、連絡所を經由して共同利用掛までお申し込みください。

(共同利用掛 ダイヤルイン 092-642-2305)

6. 平成9年度の利用者旅費について

遠隔地の利用者が、本センターへ出向き計算機を利用する場合、利用者からの申請に基づいて利用者旅費が支給される制度があります。この制度は、本センターを利用するための環境が不十分な遠隔地の利用者の便宜を図るためのものです。本制度を利用して計算機の利用を希望される方は、下記により手続きをしてください。

記

1. 対象者

遠隔地の利用者。文部省科学研究費補助金による利用者は支給の対象外です。

2. 出張期間

センター滞在日数は原則として3日以内とし、出張期間は4泊5日以内とします。

3. 支給旅費

国家公務員等の旅費に関する法律等に定める運賃、日当及び宿泊費が支給されますが、予算の制約がありますので、出張期間の短縮を含めた調整をさせていただく場合があります。

4. 申込み方法

平成10年3月末日までの出張計画をたて、連絡所備え付けの「利用者旅費支給申請書」を平成10年1月13日までに、連絡所に提出してください。

- ・その他出張利用に関して不明な点がありましたら、本センター共同利用掛までお問い合わせください。

(共同利用掛 ダイヤルイン 092-642-2305)